

がい とう ばん
概 要 版

れい わ ねん と
令和2年度
(2020年度)
れい わ ねん と
令和6年度
(2024年度)

ね り ま く

練馬区

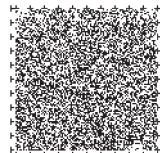
ち い き ふ く し け い か く

地域福祉計画

ず っ と 住 み た い
やさしいまちプラン



れい わ ねん (2020年) 3月
ねり ま く
練馬区



けいかく さくてい もくてき

計画策定の目的

急速な少子高齢化などの影響により、地域の関係性が希薄化し、地域が抱える課題は多様化・複雑化しています。地域生活課題に対応する施策等を総合的に進めるため、福祉のまちづくりと成年後見制度の利用促進を地域福祉として一体的に展開する地域福祉計画を策定しています。

けいかく いち

計画の位置づけ

この計画は、「第2次みどりの風吹くまちビジョン」に基づく個別計画であり、「社会福祉法」に規定する地域福祉計画、「練馬区福祉のまちづくり推進条例」に規定する福祉のまちづくりの推進に関する計画、「成年後見制度利用促進法」に規定する成年後見制度利用促進基本計画でもあります。

けいかく たいけい

計画の体系

きほんりねん
基本理念

きょう かん
共 感

人や暮らしの多様性への「気づき」を広げ、多様な意見を取組に反映させる

きょう どう
協 働

区民等が、主体的に取り組み、相互に尊重し、協力して福祉のまちづくりを推進する

あん しん
安 心

区民一人ひとりが尊厳を持ち、安心して暮らせるよう、必要な支援を行う

もくひょう
目標

ともに支え合う
ずっと住みたいやさしいまち

し さく
施策

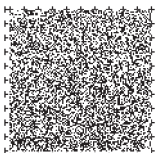
① 区民との協働と地域の
支援合いを推進する

② 福祉サービスを利用しやすい
環境をつくる

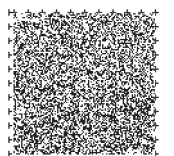
③ ユニバーサルデザインに
配慮したまちづくりを進める

④ 多様な人の社会参加に対する
理解を促進する

⑤ 権利擁護が必要な方への
支援体制を整備する



1 地域の福祉力を支える担い手を応援する	(1) 町会・自治会の活性化	1
	(2) 民生・児童委員の活動支援、制度の周知	2
	(3) 「つながるカレッジねりま」へのリニューアル	3
	(4) NPO法人（特定非営利活動法人）等の活動支援	4
2 区民との協働で気軽に立ち寄れる場をつくる	(1) 練馬こどもカフェの充実【新規】	5
	(2) 街かどケアカフェの充実【新規】	6
	(3) 「相談情報ひろば」の充実	7
3 地域課題を自ら解決する力を引き出す	(1) 地域福祉コーディネーターによる地域福祉の基盤づくり	8
	(2) 地域おこしプロジェクトの充実【新規】	9
その他	○ ボランティア活動等への支援 10	○ 福祉のまちづくりサポーター育成事業の推進 12
	○ 非営利地域福祉活動団体への支援 11	
1 包括的な支援を推進する	(1) 福祉・保健相談窓口を調整するコーディネーターの配置【新規】	13
	(2) 関係機関の連携強化【新規】	14
	(3) 福祉・保健相談窓口でのアウトリーチ支援の充実【新規】	15
	(4) ひきこもり・8050問題への支援の充実【新規】	16
	(5) 生活困窮世帯の自立支援を推進	17
	(6) 住まい確保支援の実施【新規】	18
2 質の高い福祉サービスを提供する	(1) 福祉人材の確保・育成・定着の推進【新規】	19
	(2) 福祉サービス事業者への指導検査体制の強化等	20
	(3) 保健福祉サービス苦情調整委員制度の周知	21
3 災害時の要支援者対策を推進する	(1) 避難行動要支援者の安否確認体制の強化	22
	(2) 福祉避難所の拡充	23
その他	○ 福祉サービス第三者評価の受審 24	○ 災害ボランティアセンターの運営 25
1 鉄道駅や周辺のバリアフリーを充実させる	(1) 駅のバリアフリー化の促進	26
	(2) 駅と周辺の主要な公共施設を結ぶ経路の整備	27
2 公共施設のユニバーサルデザインを推進する	(1) より使いやすい区立施設・区立公園の整備	28
	(2) 誰もが利用しやすいスポーツ環境づくり	29
3 誰もが安心して使える・気軽に行ける身近な民間施設を増やす	(1) 民間建築物のバリアフリー改修の促進	30
	(2) 設計や施工に活かすユニバーサルデザイン技術の蓄積	31
	(3) 福祉のまちづくり推進条例施設整備マニュアルの改訂【新規】	32
その他	○ 建築物のバリアフリー化 33	○ 放置自転車対策 35
	○ 道路のバリアフリー化・無電柱化の推進 34	
1 学び合いで、個性を伸ばし、感性を育む	(1) 多様な人との相互理解の促進	36
	(2) ユニバーサルデザイン体験教室の拡充	37
2 利用しやすい情報や案内で安心・快適な生活を支える	(1) 地図情報と連携したバリアフリー情報の発信	38
	(2) イベント等におけるICT（情報通信技術）の活用	39
	(3) 印刷物のユニバーサルデザインガイドラインの活用	40
3 やさしいまちづくりの取組を広げる	(1) ユニバーサルデザイン推進ひろばの充実	41
	(2) 「まちを笑顔にするための第一歩」の推進	42
	(3) やさしいまちの情報発信	43
その他	○ 外国人のための日本語学習の支援 44	○ 障害のある方への情報保障の推進 47
	○ 外国人のための相談窓口の設置 45	○ 多様な人の社会参加に対する理解の普及啓発 48
	○ 様々な文化の相互理解を促進 46	○ ねりま区報の発行（音声版、点字版および電子ブックの発行） 49
1 成年後見制度の利用を支援する	(1) 制度利用促進の中核となる機関の設置【新規】	50
	(2) 地域で連携して支えるネットワークの構築	51
	(3) 成年後見制度の周知・啓発	52
2 法人後見や市民後見人等の活用を推進する	(1) 社協等による法人後見の実施【新規】	53
	(2) 市民後見人の養成と支援	54
	(3) 親族後見人等の支援	55
3 権利擁護に関連する支援事業を充実する	(1) 地域福祉権利擁護事業等の実施	56
	(2) 生前の安否確認と死後の費用補償【新規】	57
その他	○ 成年後見制度に関する講演会・勉強会 58	○ 成年後見人等に対する報酬助成 60
	○ 成年後見制度に関する専門相談・法律相談 59	



施策 1 区民との協働と地域の支え合いを推進する

地域に根差した区民の自発的な活動が、区内の至るところで活発に行われるよう、協働の取組を推進します。

取組項目 1 地域の福祉力を支える担い手を応援する

◎「つながるカレッジねりま」へのリニューアル

◆パワーアップカレッジねりまや練馬E nカレッジなど既存の事業を再編します。福祉、防災、農、みどり、環境の5つの学習分野を設け、町会・自治会やNPOなどとのマッチングを進めます。



カレッジの受講イメージ

取組項目 2 区民との協働で気軽に立ち寄れる場をつくる

◎練馬子どもカフェの充実

◆民間カフェと協働し、子どもが学び・遊ぶ機会や、保護者が交流したりリラックスできる環境を提供する「練馬子どもカフェ」の実施店舗を拡大します。(気軽に入りやすい民間のカフェを子育てスポットとして活用する取組です。)



保育園の先生と参加者の様子
(タリーズコーヒー大泉学園店)

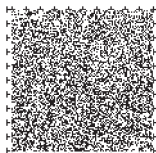
取組項目 3 地域課題を自ら解決する力を引き出す

◎地域おこしプロジェクトの充実

◆区民の自由な発想から生まれたアイデアの具現化を支援する地域おこしプロジェクトを実施しています。活動段階に応じて柔軟な支援ができる仕組みや専門家による経営相談など、支援内容を充実します。



ねりまワインプロジェクト
ぶどう収穫の様子



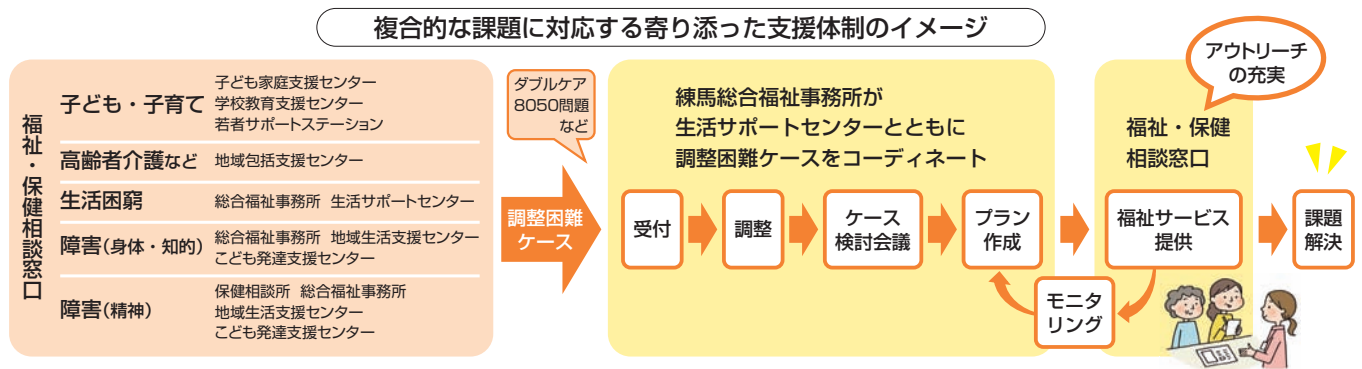
施策2 福祉サービスを利用しやすい環境をつくる

様々な悩みや課題を抱える世帯が、地域で安心して暮らせるよう、関係機関が連携して福祉サービスを利用しやすい環境をつくりまます。

取組項目1 包括的な支援を推進する

福祉・保健相談窓口を調整するコーディネーターの配置

◆練馬総合福祉事務所の連携推進担当がコーディネーターとなり、生活サポートセンターとともに、各相談窓口の役割分担・サービス内容を調整し、最適な支援プランを作成します。コーディネーターは進捗管理やモニタリングを行い、必要に応じて新たなプランを作成します。



取組項目2 質の高い福祉サービスを提供する

福祉人材の確保・育成・定着の推進

- ◆区民が安心して福祉サービスを利用できるよう、従事者のスキルアップに向けた研修を実施します。
- ◆業務効率化につながるICT機器やシステムの導入費用を一部助成するなど、各分野の状況に応じた支援に取り組みます。



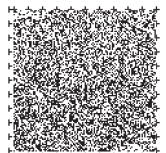
取組項目3 災害時の要支援者対策を推進する

避難行動要支援者の安否確認体制の強化

◆災害時の支援活動を確実・迅速に行うため、災害時に自力で避難することが難しい方（避難行動要支援者）の名簿を毎年度更新し、地域ごとに日常的な見守りや名簿を活用した訓練を実施します。



安否確認訓練の様子



施策3 ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進める

区民や事業者と協力し、鉄道駅とその周辺施設とを結ぶ経路の整備、区立施設や区立公園および民間建築物のバリアフリー化を進め、誰もが安心して出かけられる環境を広げます。

取組項目1 鉄道駅や周辺のバリアフリーを充実させる

◎駅と周辺の主要な公共施設を結ぶ経路の整備

◆駅と主要な公共施設を結ぶアクセスルート（12か所）について、駅・道路・施設の連続性に配慮した整備を進めます。さらに、多くの区民が利用する医療機関等のアクセスルート指定に取り組みます。



まち歩き点検の様子

取組項目2 公共施設のユニバーサルデザインを推進する

◎誰もが利用しやすいスポーツ環境づくり

◆年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツを楽しめるよう、大泉さくら運動公園に車椅子テニスに適応した庭球場を新設、光が丘体育館は車椅子でも利用しやすいアリーナ床へ更新します。

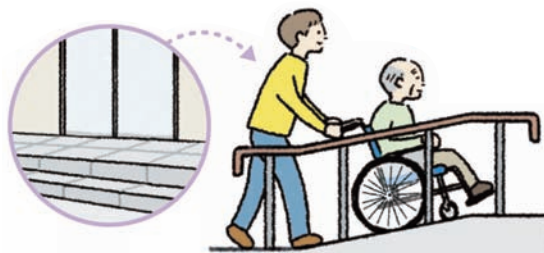


競技者から意見を伺う様子

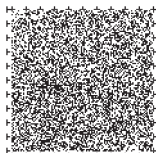
取組項目3 誰もが安心して使える・気軽に行ける身近な民間施設を増やす

◎民間建築物のバリアフリー改修の促進

◆店舗、診療所等のスロープや手すりの設置など改修費用の一部を助成します。施工業者の育成と情報提供を行い、既存建築物のバリアフリー化を促進します。



段差解消のためのスロープイメージ



施策4 多様な人の社会参加に対する理解を促進する

年齢や性別、障害の有無や国籍に関わりなく、誰もが安心して社会に参加できる環境を整えます。

取組項目1 学び合いで、個性を伸ばし、感性を育む

◎多様な人との相互理解の促進

- ◆子どもや高齢者、障害のある方、外国人など、様々な人がともに暮らせるよう、ねりまユニバーサルフェスを開催しています。
- ◆ユニバーサルデザインに関する必要な知識や技術を学ぶことができる講座を地域で開催します。



ねりまユニバーサルフェス
(みんなのUDパーク)の様子

取組項目2 利用しやすい情報や案内で安心・快適な生活を支える

◎地図情報と連携したバリアフリー情報の発信

- ◆練馬区バリアフリーマップ（あんしんおでかけマップ）は区内施設のバリアフリー設備状況を、区ホームページで情報提供しています。掲載施設の拡充や多様なユーザーにも発信できるよう、外国語版を導入します。



バリアフリーマップ

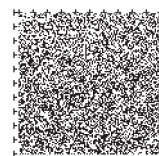
取組項目3 やさしいまちづくりの取組を広げる

◎やさしいまちの情報発信

- ◆地域や団体等の「やさしいまちづくり」の活動が広く認知され、より多くの区民が社会に参加するきっかけとなるよう、やさしいまちづくりの知識や情報を区報やホームページ等で広く発信します。



やさしいまちのイメージ



施策5 権利擁護が必要な方への支援体制を整備する

認知症や障害のある方など、誰もが地域で安心して暮らし続けられるよう、権利擁護に関する制度や事業を利用しやすい環境を整えます。

取組項目1 成年後見制度の利用を支援する

◎制度利用促進の中核となる機関の設置

- ◆練馬区社会福祉協議会の権利擁護センター「ほっとサポートねりま」は、成年後見制度の利用を進める「中核機関」として区民や関係者を支援し、地域のネットワークづくりを進めます。

取組項目2 法人後見や市民後見人等の活用を推進する

◎社協等による法人後見の実施

- ◆練馬区社会福祉協議会において法人後見を実施します。
- ◆「ほっとサポートねりま」は、法人後見を行うNPO法人等の活動を支援します。

(用語) 法人後見は、社会福祉法人やNPO法人等が成年後見人等として活動するもの。
市民後見人は、養成研修を受講して知識を身に付けた区民が成年後見人等として活動するもの。

取組項目3 権利擁護に関連する支援事業を充実する

◎地域福祉権利擁護事業等の実施

- ◆成年後見制度の利用に至る前の支援策として、日常の金銭管理などを支援する「地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）」や「財産保全・手続き代行サービス」を実施します。

問い合わせ先

練馬区 福祉部 管理課

【電話】 03-3993-1111 (代表)

【FAX】 03-5984-1214

【メール】 TIIKIFUKUSHI@city.nerima.tokyo.jp

